

地域企業経営史特論 (2単位)

担当者氏名 黒瀧 秀久

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

経営学研究は資本主義社会における企業経営の組織と管理の特質を歴史的・理論的に明らかにすることを目的としていること、一国における再生産構造の史的展開と産業循環を含む資本主義発達史を基底にして企業経営と労使関係を連繋させた産業経営構造分析を行うため、本講義ではその基礎理論の理解と地域企業の持続的経営の展開論理の解明を到達目標とする。また、「21世紀型の地域企業経営のあり方」として、エコ・ビジネスを含めた環境経営の視点から、生物産業経営を捉え直し、地域に根ざした企業経営を分析する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載) ご自身のキーワードを記入してください

経営史	資本主義発達史	CSR	環境経営
コミュニティ・ビジネス	エコ・ビジネス	生物産業	持続的経営

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	経営史研究の諸系譜と地域企業の課題(1) (第1~4週)	経営史研究の諸系譜の前半(イギリス産業革命期における企業経営と管理問題、アメリカ資本主義段階の独占形成期における経営戦略)を分析する。	◎準備学習としてレジュメを作成して報告し、講師に質問をするなどして授業内容を理解するように努めること。
2	経営史研究の諸系譜と地域企業の課題(2) (第5~8週)	経営史経営の諸系譜の後半(19世紀末葉におけるアメリカの経営問題、19世紀末以降の管理組織の変遷、世界資本主義と経営問題)を分析する。	◎また、講義で配付された資料等については、講義後、復習をすること。
3	資本主義的経営の特質と新たな企業経営像 (第9~12週)	地域企業には資本主義的経営を超えた新たな経営像が求められており、企業のCSR活動や環境・コミュニティビジネスの展開論理を分析する。	
4	21世紀型の地域企業経営のあり方 (第13~15週)	経営学理論・企業経営史・今日の企業経営の分析を踏まえて、生物産業(農・林・畜・水産)を基幹とする地域企業の持続的経営を考究する。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

『経営管理の思想と理論 企業、システム、持続可能性』/鈴木幸毅ほか/税務経理協会(2009年)

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

『サステナビリティと経営学-共生社会を実現する環境経営-』/足立辰雄・所伸之編/ミネルヴァ書房(2009年)

◆評価の方法(レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

毎回のレポートにて評価する

◆オフィスアワー

毎週金曜日の午後、研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

教員から教わるのではなく、自ら理論を創造するという態度で授業に参加してほしい。